

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：相澤保育室	種別：地域型保育事業	
代表者氏名：宮田 美穂	定員（利用人数）：5名	
所在地：〒212-0022 川崎市幸区神明町1-10		
TEL：044-511-1826	ホームページ：https://hoikuayumi.com/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2015年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 歩		
職員数	常勤職員：2名	非常勤職員：5名
専門職員	（専門職の名称）：名	管理栄養士：2名
	保育士：4名（1名家庭的保育者）	子育て支援員：1名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	居室：保育室1室	設備：調理室
		設備：沐浴室
		設備：トイレ
		設備：事務室
		設備：園庭

③理念・基本方針

<理念>

こども一人一人の個人差を大切にし、健やかな成長を願い喜びを共感していく

<基本方針>

●温かな雰囲気大切に魅力ある保育の中で子どもの主体性、発想をはぐくむ

<保育目標>

●よく眠り、よく飲み、よく食べ、よく遊び、快く生活する

④施設・事業所の特徴的な取組

<相澤保育室の特徴的な取り組み>

●小さな保育施設だからこそできることを大切にしています。

季節のイベント、日々の保育中での子ども達の発見、できるようになったこと、そんな子どもたちの様子を出来る限り鮮明に保護者の皆さまにお伝えできるよう、送迎時の対話やメディア媒体を使った発信などに力を入れています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年05月02日（契約日） ～
--------	--------------------

	2023年03月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

◎総評

《相澤保育室の概要》

●相澤保育室は、株式会社 歩（あゆみ）（以下、法人という）の経営です。平成27年度、国の子ども・子育て支援新制度による地域型保育事業の一環として、保育ニーズの高い0歳～2歳児を対象にした小規模保育事業が法制化され、それに伴い平成27年、家庭的保育室を設立し、定員5名（0歳1名、1歳・2歳各2名）の、家庭的保育者1名を有する川崎市の認可事業として相澤保育室をスタートしました。法人では同一敷地内に小規模保育C型の「幸ひらむ保育園」（定員10名/0歳児・1歳児各3名、2歳児4名）を運営しており、2保育室で協力し合い、有効な相乗効果を持って保育に当たっています。

●家庭的保育室である相澤保育室の特長は、①少人数の認可保育施設であること、②家庭的保育者の資格を有する経験値の高い保育者が在籍していること ③濃密に子どもと触れ合い充実した保育体制であること、さらに、④一人ひとりの保護者と密に連携して保育に当たっていることが挙げられます。

●相澤保育室が位置する地域は、川崎駅北部の再開発で商業施設「ラゾーナ川崎プラザ」が設立され、併せて広いバスセンターになるに及び街が一変し、大きく発展する途上にあります。相澤保育室のある神明町は、古くからの落ち着いた住宅地ですが、開発に伴い数年後、十数年後の環境・景色も変わることが予想されます。近隣は自然がまだ残り、園舎前には並木が続き、公園も点在し、神明町公園や、少し足を延ばせば南河原公園もあり、自然を感じながら子どもたちは戸外遊びを楽しんでいます。

◇特長や今後期待される点

1. 【家庭的で手厚い保育の体制】

相澤保育室の特長は、0歳児～2歳児の少人数保育にて一人ひとりの子どもにきめ細かい保育を提供する点にあります。定員5名に対し、職員は7名体制を敷き、場合によっては子ども1人に対して1人以上の保育者が当たる手厚い体制です。また、家庭的保育者として資格を得た経験値の高い保育士が1名以上在籍し、より深い知識等、多くの要件を満たした家庭的保育室として、質・量共に優位な人的環境の中で子育てが実践されています。よって、今回の第三者評価利用者（保護者）アンケートでも「子どもを大切にしてくれている」、「保護者に対する職員の対応・態度」、「子どもが楽しく過ごしている」等について100%の満足度を得ており、保護者からも高い安心感がうかがえます。

2. 【一人ひとりの子どもを大切にした保育】

相澤保育室の特長の2つ目は、より濃く子どもと触れ合う保育の実践です。乳児保育に特化した保育では、月齢や個々の発達のスピードのバラつきを考慮して、保育のねらいに関しても個別的な視点で計画しています。0歳児は心身共に成長が著しいことを配慮し、食事や遊び、保育者の愛情ある関わりで情緒の安定を図り、1歳児では、旺盛な好奇心、自我の芽生えに寄り添い、援助の仕方を工夫し、2歳児は、自己表現の難しさや、できなくても自分でやりたい等、幼児期へ転換する貴重な1年の成長をよく見守り、3歳児へとつなげています。相澤保育室では、個を理解してくれる大人との生活で、物事を理解して成長して行きます。また、連携園である市立河原町保育園や社会福祉法人びらいむキッズみなみがわら保育園とは、日頃より園庭開放・交流保育等を通じて様々な交流を図り、子供たちは3歳になったらこれらの保育園へ行くことを楽しみにしています。

3. 【保護者に寄り添った保育】

相澤保育室では、送迎時には基本的に家庭的保育者が保護者と対応するようにしています。保護者の不安や心配への解消に努め、登降園時に子どもの1日の様子や知らせたいこと、楽しかったこと等を伝え、子どもの成長を保護者と共に喜び、子育てのパートナーとして支援しています。家庭的保育事業のメリットの1つでもある、保護者と密にコミュニケーションを図り、保育者は子ども一人ひとりの状況をより正確に細かく共有し、気を付ける点や、自宅での対応の仕方等を伝え、保護者に対してサポートを行っています。相澤保育室では、全保育者が保護者に的確に説明ができるよう研鑽及び、育成に日々努めています。

4. 【家庭的保育室の認知と周知】

課題として最も大きいことは家庭的保育室の知名度を上げることです。乳児保育・小規模保育事業、そして地域型保育事業については川崎市が他市より1歩進んでおり、「保育ママ（家庭保育福祉員）」の伝統もあります。しかし、家庭的保育事業は少人数を対象とした保育施設であることから、ベビーシッターとの違いが不明瞭であり、理解の浸透の希薄さは否めません。家庭的保育は市の認可事業であり、他の保育事業とは運営形態や対象年齢に大きな違いがあること、家庭的保育者は保育士の資格を有したベテラン保育士が必ず在籍していること等を一般に広く周知し、また、3歳児からの進路についても、理解と認識を持ってもらう必要があります。是非、保育園（室）選択の際に、保護者が正しい選択ができるよう、知名度を上げていかれることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： 株式会社 歩 相澤保育室

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

今回は自分達の保育の改善点を知り、今後活かしていきたいという気持ちで受審に臨みましたが、施設長となり1年目の私にとっては自分自身について、どのような保育をしていきたいのか、どのような施設にしていきたいのかを改めて考える良い機会となりました。

調査者の方々には丁寧にヒアリングをして下さり、私達の思いを十分に汲み取って頂けたと感じますし、お話の中で多くの学びがありました。利用者アンケートでは保護者の思いを知ることができ、職員一同励みになりました。

今まで今回のような自己評価を行った経験がありませんでしたので、自分の経験・知識不足を痛感しました。しかし、評価に向けて職員間で話し合う機会が増えたことで職員同士の気持ちを確認し合い、共通認識を持てるようになったこと、団結力が高まったことは大変良かったと思っています。今回の受審で施設長としての責任や保育室に関わる全ての人に感謝の気持ちを忘れてはいけなと強く感じました。

<評価後取り組んだ事として>

1. 今まで以上に職員間での話し合いを密にし、情報共有をするようにしました。
2. 園長不在時に誰の指示を仰ぐのかを明確にし、書類に明記しました。

3. 地域に住むご家族の子育て応援と保育室の知名度向上のために、園庭開放イベントを定期的に行うようにいたしました。市の情報誌に載せていただく他、看板の下にも掲示や窓飾りも増やし、保育室の存在を知っていただくための活動を徐々に始めています。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり